

山形新聞 2024.06.18(11面)

山形新聞社の許可を得て掲載



自転車

まずヘルメット着用

新庄北高、推進モデル校に

高校生の自転車利用時のヘルメット着用率を高めようと、県などが取り組む「自転車ヘルメット着用推進モデル校」事業で、最上地域初の指定書交付式が14日、新庄市の新庄北高（石山宣浩校長）で行われた。

岡田淳県警交通企画課長が「自分の身を守るためにヘルメットが必要だ。日頃から交通安全への意識

を高めてほしい」とあいさつし、生徒会長の3年阿部薫（ほくと）さんに指定書を手渡した。阿部さんは「ヘルメットを着用する姿を地域の人に見てもらうことで、最上地域全体でも着用率向上を目指したい」と語った。

同校は今後、生徒会を中心に生徒からデザインを募り、啓発ポスターやのぼり

の製作に取り組む。

（八木沢駿）